

## 指定管理者制度活用事業 評価シート

### 1. 基本事項

施設名称	川崎市黒川青少年野外活動センター	評価対象年度	平成28年度
事業者名	・事業者名 特定非営利活動法人 国際自然大学校 ・代表者名 理事長 佐藤 初雄 ・所在地 東京都狛江市岩戸北4-17-11	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成26年4月1日 ～ 平成31年3月31日	所管課	こども未来局青少年支援室

### 2. 事業実績

利用実績	①年間延べ利用者数 30,469人 (平成27年度:30,439人)	②年間延べ利用団体数 846団体 (平成27年度:846団体)																										
収支実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">1 収入</td> <td style="text-align: right;">単位:円</td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td style="text-align: right;">24,852,395</td> </tr> <tr> <td>その他収入</td> <td style="text-align: right;">7,344,631</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: right;">32,197,026</td> </tr> <tr> <td>2 支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費・賃金</td> <td style="text-align: right;">16,707,339</td> </tr> <tr> <td>光熱水費</td> <td style="text-align: right;">1,450,751</td> </tr> <tr> <td>委託費</td> <td style="text-align: right;">3,017,970</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td style="text-align: right;">4,643,001</td> </tr> <tr> <td>修繕費</td> <td style="text-align: right;">964,384</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td style="text-align: right;">5,384,828</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td style="text-align: right;">32,168,273</td> </tr> <tr> <td>3 差引</td> <td style="text-align: right;">28,753</td> </tr> </table>		1 収入	単位:円	指定管理料	24,852,395	その他収入	7,344,631	合 計	32,197,026	2 支出		人件費・賃金	16,707,339	光熱水費	1,450,751	委託費	3,017,970	消耗品費	4,643,001	修繕費	964,384	その他経費	5,384,828	合 計	32,168,273	3 差引	28,753
1 収入	単位:円																											
指定管理料	24,852,395																											
その他収入	7,344,631																											
合 計	32,197,026																											
2 支出																												
人件費・賃金	16,707,339																											
光熱水費	1,450,751																											
委託費	3,017,970																											
消耗品費	4,643,001																											
修繕費	964,384																											
その他経費	5,384,828																											
合 計	32,168,273																											
3 差引	28,753																											
サービス向上の取組	野外活動に関する知識や技術が豊富な職員が指導にあたり、満足度の高い体験や世代間交流、地域交流の場を作っている。また事業実施後に反省会を開き、改善点を指導マニュアルに反映させており、事業の充実を図っている。																											

### 3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	施設の目的に合った事業が実施されているか	5	3	3
		計画どおり事業が実施されているか			
	事業成果	事業成果として利用者数に増加傾向がみられるか	5	4	4
	(評価の理由)	施設の目的に沿って、野外活動に関する専門性を活かし、概ね計画どおりに事業を実施している。 また、黒川・里山事業では、黒川満喫プログラムの「ドラム缶ピザ焼き体験」、「みんなで流しソーメン」を3日間実施し、ともに200名前後の参加があり、「黒川大鍋まつり」では131名の参加があるなど、主催事業の開催にあたり、スタッフ配置や施設の活用方法を工夫して、ほぼ全ての主催事業で定員数を増やし、多くの参加希望者を受け入れ、事業を推進した。 その結果、利用者数は昨年度より増え、第2期指定管理時と比較して約12%の増となったほか、事業計画目標の年間利用者数30,000人についても、計画を上回る30,469人の利用があり、目標を達成した。 【参考】第2期指定管理時(平成21年度～平成25年度)年度平均利用者数:27,106人			
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	4	4
	効率的・効果的な支出	計画に基づく適切な収入が確保されているか	10	3	6
		計画に基づく適切な支出がなされているか			
		支出に見合う効果が得られているか			
	効率的な執行等、経費縮減の具体的な取組がなされているか				
	(評価の理由)	適切な金銭管理・会計手続について、会計処理及び金銭管理のための規則等に従い、適切に処理しただけでなく、施設の運営のための口座を1つの専用口座で管理運営しており、会計処理及び金銭管理のために特別な対応をしている。 効率的・効果的な支出について、概ね計画に基づいた適切な収入・支出がなされている。			

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	4	4
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	10	3	6
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校や行政等と連携が図られているか	10	3	6
	利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	10	3	6
		把握したニーズが事業運営へ反映されているか			
<p>(評価の理由)</p> <p>施設・事業の広報について、主催事業のチラシを2色刷りから全面カラーの印刷物に切り替えたほか、新たにフェイスブックを活用し、日々の活動の様子や募集告知を記載したことにより、新たな層へ事業や活動を伝えることができるようになるなど、積極的な取り組みが行われている。</p> <p>利用者に対する接遇については、適切に対応が行われている。</p> <p>また、栗木台小学校5年生の総合的な学習の時間を利用して行われた「里山の授業」において、120人の児童がセンターに訪れ、職員及びネイチャーボランティアの講師である森林インストラクター協力のもと、里山について様々な角度から学習し、里山の手入れを行なったほか、桐光学園の生徒240名のボランティア活動を受け入れ、センターの森の手入れを実施するなど、学校等と連携した取組を推進している。</p> <p>利用者ニーズについては、日頃から利用者とのコミュニケーションをとり、気軽に利用者が意見を寄せられるような関係づくりに努め、利用者アンケートなどの意見、要望を把握し、夏期に工作室と集会室にリースでエアコンを設置した。</p>					
組織管理体制	適正な人員配置	利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	4	8
		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか	5	3	3
	個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <p>人員配置については、主催事業の運営やプログラム指導の依頼に応じて柔軟な勤務体制を組んで対応しており、教員免許、保育士の資格を持つ職員を配置したことで、「森のようちえん」事業において、より専門的な立場で指導することができたほか、BBQインストラクター資格を持つ職員を配置し、「アウトドアキッチン」事業を展開するなど、資格を持った職員の専門知識が事業に活かされている。</p> <p>職員の研修体制については、食品を扱う事業が多いため、食中毒等の予防や指導を専門的な立場で行えるよう、食品衛生責任者養成講習を受講するなど、専門的な技術とスキル向上を図るため、計画的に研修が実施されている。</p> <p>黒川青少年野外活動センター個人情報の取扱い方針を遵守し、個人情報の取扱いについて、適切な運用を行った。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
		利用者の安全確保			
	防犯対策	施設等の防犯のための工夫がされているか	5	3	3
		緊急時のマニュアル等が整備されているか			
	災害への対応	避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか	5	3	3
		災害発生時のマニュアル等が整備されているか			
<p>(評価の理由)</p> <p>施設・設備の保守点検について、各種法令点検のほか、安全点検項目を定め月1回の定期点検を行った。また、年月の経過により破損している散策路の階段や手すりは、ケガ・事故を未然に防ぐために、修繕を行った。</p> <p>利用者の安全確保について、緊急時マニュアルを整備しているほか、黒川の里山でみられる危険な動植物(クサノオウ、ヘビ、ムカデ、ハチ等)について利用者に知らせ、その対応について指導を実施するなど、利用者の安全確保に関する指導を独自に実施した。</p> <p>防犯対策として、日常の巡回点検を実施し、職員が施設内を見回り、異常がないか確認し、不審者侵入防止等の取組をしている。</p> <p>災害時への対応として、避難訓練を実施したほか、災害が発生した場合、汁守神社の備蓄倉庫食材を活用したり、黒川青少年野外活動センターの薪や炊事用具の供給を行えるよう、日頃から町内会と連携している。</p>					

注) 配点×(評価段階/5)=評価点

#### 4. 総合評価

評価点合計	66	評価ランク	C
-------	----	-------	---

注) 評価点:100点満点。評価ランク:5段階評価

- A(80点以上):特に優れている、B(70点以上80点未満):優れている、  
 C(60点以上70点未満):適正である、D(50点以上60点未満):改善が必要である、  
 E(50点未満):問題があり適切な措置を講じる必要がある

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

フェイスブックの活用やチラシを全面カラーに変更するなど広報の充実に努めるとともに、黒川の地域性と専門知識を活かして、幼児親子向け事業を始めとする既存の事業に工夫を加え、より利用者ニーズに対応した企画・事業推進を図っている。

また、野外活動にかかる専門性を有する職員が、さらにその資質の向上に努める研修を実施しており、プログラム指導マニュアルの改善に活かされていることは評価できる。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、多くの市民に黒川の自然の中での野外活動等を体験してもらえる環境を維持するとともに、アンケートの意見や事業実施後の反省会で出た改善点を反映させ、利用者ニーズに沿った事業を展開してほしい。